電源を入れる前に

まず、このセットアップガイドをお読みください。

PRIMERGY（プライマジー）L200には、OSのインストールから必須のソフトウェア、ドライバ類を簡単にインストールできる「ServerStart」が添付されています。
本書は、ServerStartを使ってセットアップするときの設置から運用までの流れを示しています。OSインストールタイプをご購入された場合は、「PRIMERGY OSインストールタイプ設定の手引き」も併せて参照してください。
カスタムメイドサービスで製品をご購入された場合は、「PRIMERGY L200カスタムメイドサービス実装・設定情報」も併せて参照してください。

重要 **OSインストールタイプをご購入の方へ**
ServerStartを使用せず、開封処理を行った場合、使用承諾画面で「同意しない」を選択してセットアップを中断すると、システム区画が2GBずつ拡張されます。
ServerStartを使って開封するか、または、使用承諾画面で必ず「同意します」を選択してください。

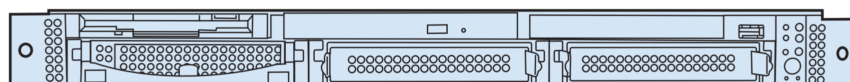
セットアップの流れ

1. 梱包物／添付品／各部の名称を確認する
2. 設置場所を確認する
3. 内蔵オプションを取り付ける
4. 周辺装置を取り付ける
5. 電源を入れて、ハードウェアを設定する
6. OSと必須ソフトウェアをインストールする
7. 残ったオプションを取り付ける／電源を切断する
8. システム設定情報を退避する
9. 運用開始

1 梱包物／添付品／各部の名称を確認する

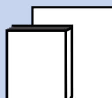
チェック欄 □

梱包物／添付品の確認



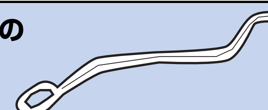
□本体装置

本サーバのマニュアル
□取扱説明書
□セットアップガイド（本書）
□保証書

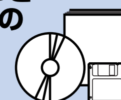


設置時に必要なもの
□ラックマウントキット
□電源ケーブル（本体装置用）

内蔵オプション接続時に必要なもの
□リストストラップ
□汎用ラベル（5枚一組×2）



各種ユーティリティ設定／確認時、およびOSと必須ソフトウェアのインストールに必要なもの



□ServerStart CD
□Windows NTをインストールしよう!
□PRIMERGYソフトウェアガイド
□ServerView CD
□REMCSエージェント
□Server Monitoring Tool
□ハードウェア構成ツール起動用フロッピーディスク
□ServerStartフロッピーディスク

システム設定情報の退避時に必要なもの
□BIOS Environment Support Tools

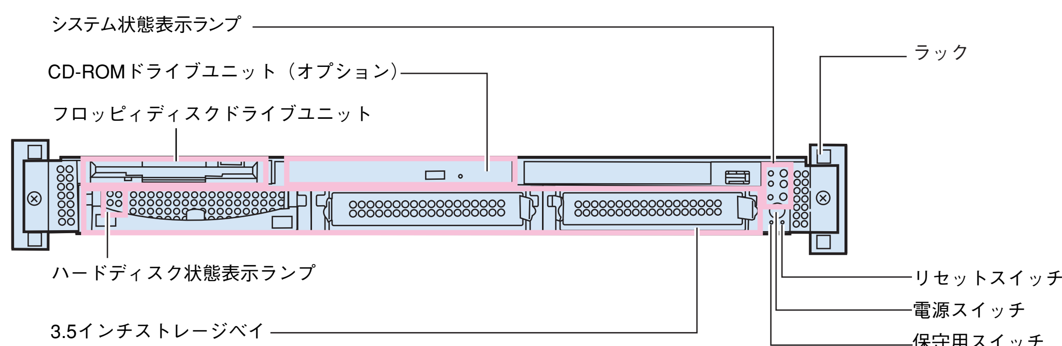


カスタムメイドサービスを利用してご購入された場合、およびご購入されたタイプによっては、上記以外の品物が添付されている場合があります（また、上記の品物が添付されていない場合があります）。梱包物／添付品は、大切に保管してください。

取扱説明書 「2.1 梱包物の確認」

各部の名称の確認

サーバ本体前面

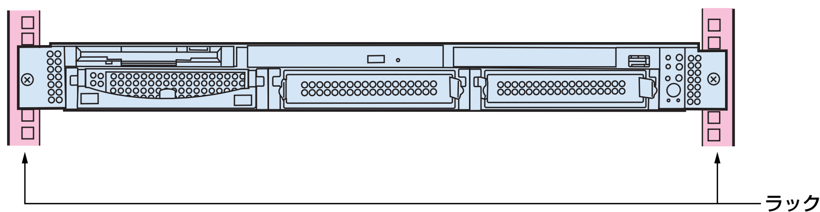


2 設置場所を確認する　チェック欄 □

取扱説明書 ≫「2.2 設置」

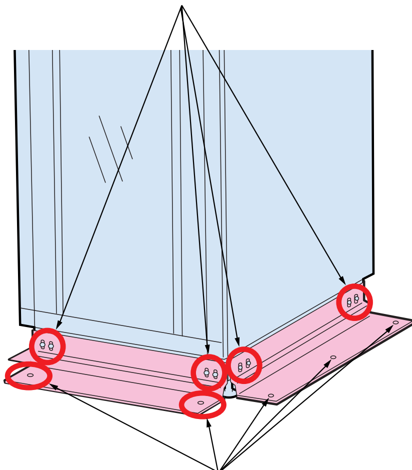
設置例

本サーバは、ラックに搭載して設置します。

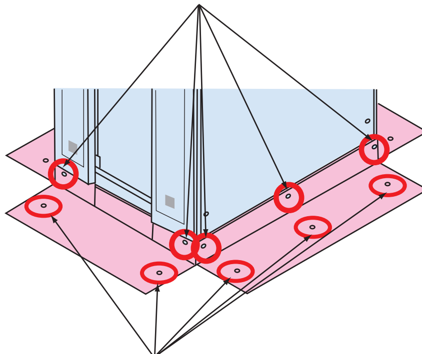


本サーバをラックに搭載してラックを固定した後、ラックに転倒防止用スタビライザを取り付けてください。

［スリムラックの場合］

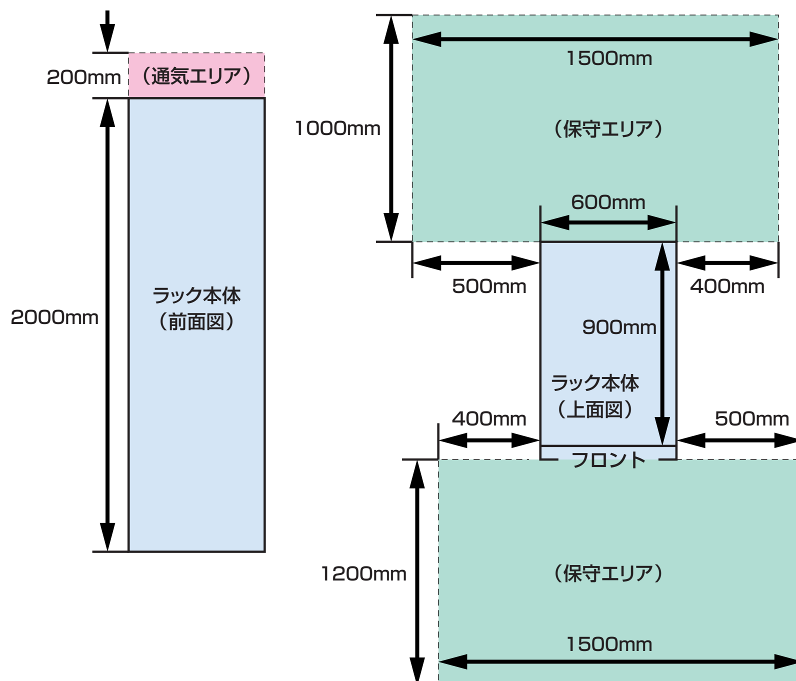


［スタンダードラックの場合］



設置スペース

サーバを設置するときは、以下のスペースを確保してください。



設置環境

温 度

本サーバは、以下の環境条件を守ったうえで運用してください。環境条件を外れた設置環境での運用は、本サーバの故障や寿命を著しく短縮する原因となります。

－温度（10～35℃）
－湿度（20～80%）
－塵埃（オフィス環境:0.15mg／m3）

3 内蔵オプションを取り付ける　チェック欄 □

取扱説明書 ≫「第5章　内蔵オプションの取り付け」

重要　OSインストールタイプの場合、特に指示のない限りハードウェア構成を変更しないでください。ハードウェア構成を変更する場合には、開封処理後（セットアップ完了後）に行ってください。

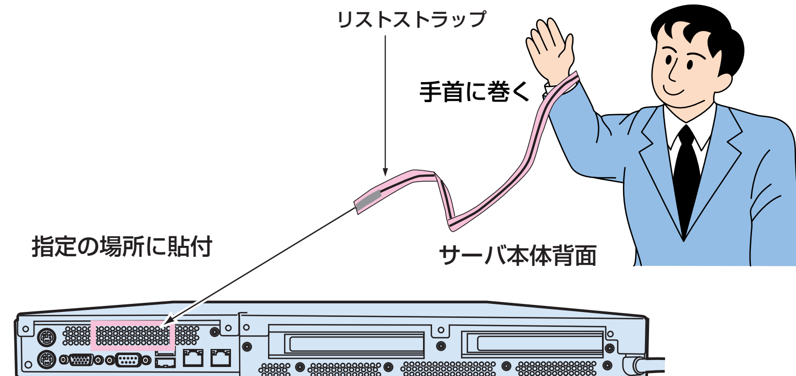
カスタムメイドサービスをご利用になって購入された場合は、すでに内蔵オプションの取り付けおよび設定がされています。

準備する

内蔵オプションを取り付ける前に、以下のものを準備してください。

- 取扱説明書
- 『PRIMERGYソフトウェアガイド』
- プラスドライバ
- リストストラップ

重要　内蔵オプションは、基板や半田づけした部分がむきだしになっています。これらの部分は、人体に発生する静電気によって損傷を受ける場合があります。取り扱う前に、リストストラップを必ず着用してから作業を行ってください。



内蔵オプションの種類

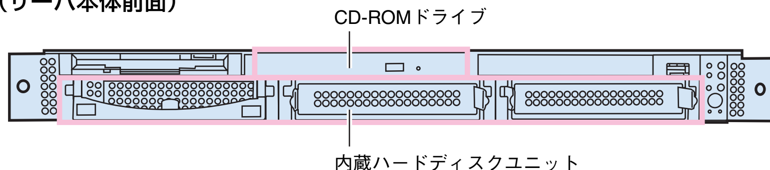
ServerStartを使ってセットアップするときは、基本的な内蔵オプションはServerStartを使う前に取り付けることができます。
ServerStartを使う前に取り付けることのできない内蔵オプションは、変更されることがありますので、以下のマニュアルを参照してください。

ServerStart ≫『PRIMERGYソフトウェアガイド』の「第1部 第1章　ServerStart の概要」

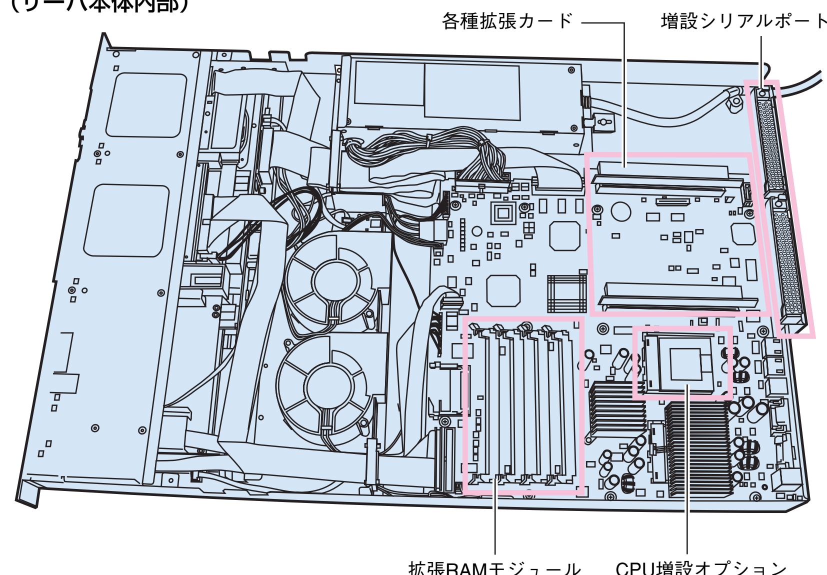
内蔵オプションを取り付けるときは、取り付ける位置や順序、他のオプションとの同時搭載時の注意があります。参照箇所を熟読のうえ、以降の手順を実施してください。

取扱説明書 ≫「第5章　内蔵オプションの取り付け」
その他 ≫『各オプション装置の取扱説明書』

（サーバ本体前面）



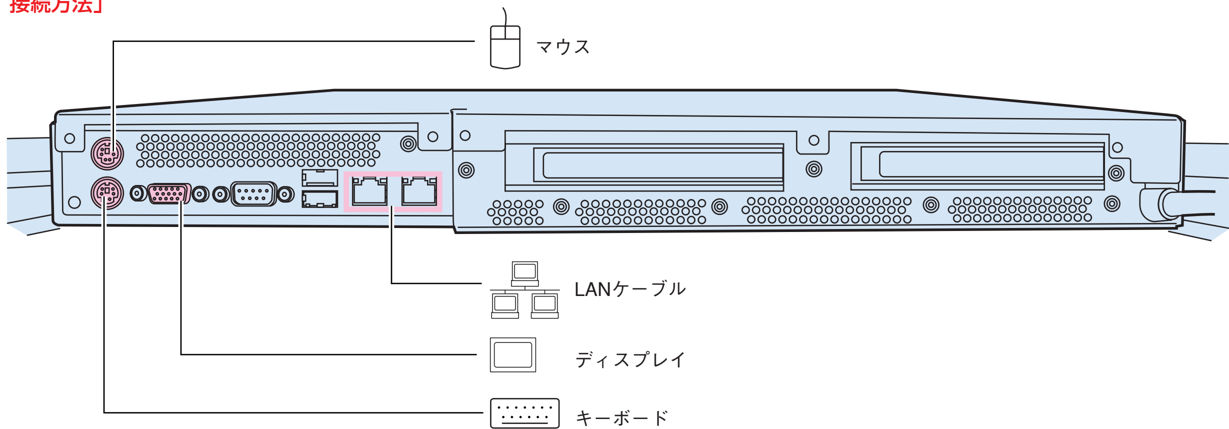
（サーバ本体内部）



4 周辺装置を取り付ける　チェック欄 □

各周辺装置を取り付けます。

取扱説明書 「2.3　接続方法」



⚠警告　感電　各周辺装置を接続するときは、サーバ本体および周辺装置の電源を切り、電源ケーブルを本サーバから取り外してください。感電の原因となります。

5 電源を入れて、ハードウェアを設定する　チェック欄 □

重要　電源投入直後、必ずServerStart CDをセットしてください。
OSインストールタイプをご購入の方は、電源投入前に必ず『PRIMERGY OSインストールタイプ設定の手引き』参照し、手順に従って開封作業を行ってください。
開封手順以外の方法では、OS設定が正しく行われず、予期しないトラブルが発生する場合があります。

OSインストールタイプ 『PRIMERGY OSインストールタイプ 設定の手引き』

必要に応じて、取り付けた内蔵オプションの設定／確認を、以下のユーティリティで行います。

BIOSセットアップユーティリティ
起動ドライブやシリアルポートの設定を、BIOSセットアップユーティリティで設定／確認します。

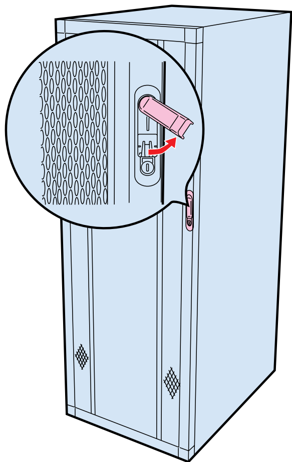
取扱説明書 「4.3　BIOSセットアップユーティリティを使う」

SCSI Selectユーティリティ
使用する内蔵ハードディスクおよびインストールするOSによって、オンボードSCSIの設定を設定／確認します。

取扱説明書 「4.4　SCSI コンフィグレーションユーティリティを使う」

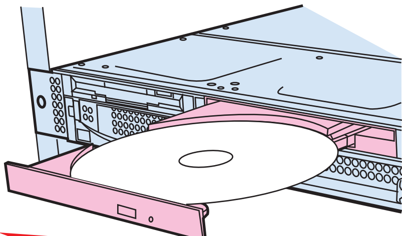
電源の投入／ServerStart CDのセット

1 ラックドアを開けます。
ラックキーを左に回し、ラックハンドルの下部を押します。
ラックハンドルを右側に回して、手前に引きます。



2 ディスプレイなどの周辺装置の電源スイッチを押します。

3 電源を投入し、ServerStart CDをセットします。
サーバ本体前面の電源スイッチを押します。
すぐに、CD-ROM取り出しボタン（EJECT）を押し、ServerStart CDをセットします。



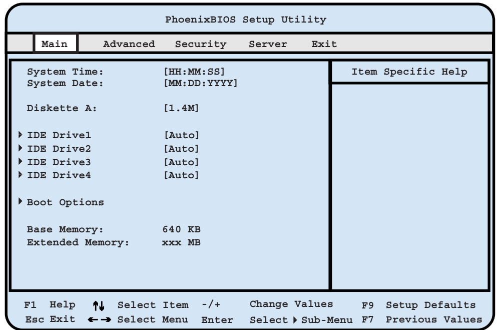
この後すぐに、各ユーティリティを起動します。

BIOSセットアップユーティリティを起動する

BIOS セットアップユーティリティは、以下の場合に行います。
－PCI カードの設定を行う場合
取扱説明書 「4.3.6 Advanced メニュー」の「●Peripheral Configuration」
－パスワードの設定を行う場合
取扱説明書 「4.3.7 Security メニュー」

■起動方法

電源投入後、画面に「Press <F2>BIOS Setup/<F12> Boot Menu」と表示されたら、メッセージが表示されている間に、[F2]キーを押します。
BIOSセットアップユーティリティが起動します。
目的のメニューを選択し、[Enter]キーを押します。

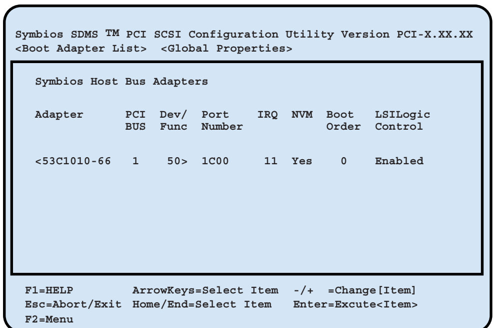


SCSI コンフィグレーションユーティリティを起動する

SCSI コンフィグレーションユーティリティは、以下の場合に行います。
－本サーバ購入時に設定値を確認する場合
－SCSI コントローラやSCSI オプションの設定の変更や確認を行う場合
－SCSI オプションの物理フォーマット、または媒体検査を行う場合
取扱説明書 「4.4 SCSI コンフィグレーションユーティリティを使う」

■起動方法

1 サーバ起動時(POST実行中)に、「Press Ctrl-C to start Symbios Configuration Utility...」と表示されている間に[Ctrl]+[C] キーを押します。
「Please wait, invoking Symbios Configuration Utility...」とメッセージが変わり、以下のメニューが表示されます。



2 各メニューから各種設定を行います。

6 OSと必須ソフトウェアをインストールする　チェック欄 □

ServerStartを実行します。ServerStartを実行すると、OSの設定（OSインストールタイプ）／インストール（ディスクレスタイプ）およびシステムに必須のソフトウェア（RAS支援サービスなど）がインストールされます。
ただし、OSインストールタイプをご購入の方は、電源投入前に必ず『PRIMERGY OSインストールタイプ設定の手引き』を参照し、手順に従って開封作業を行ってください。
開封手順以外の方法では、OS設定が正しく行われず、予期しないトラブルが発生する場合があります。

OSインストールタイプ ≫ 『PRIMERGY OSインストールタイプ 設定の手引き』

重要　OSをインストールする前には、メンテナンス区画を作成してください。

取扱説明書 ≫ 「6.6 RAS支援サービスについて」
「6.7 ServerViewについて」
ServerStart ≫ 『Windows NTをインストールしよう!』の「直接インストール」
『PRIMERGY ソフトウェアガイド』



■起動方法

1 電源が投入され、ServerStart CDがセットされていることを確認します。

2 ServerStartに添付の「ServerStartフロッピーディスク」を本体にセットして、[OK]をクリックします。
ServerStart の画面が表示されます。画面に従って、OSの設定／インストールをします。

7 残ったオプションを取り付ける／電源を切断する　チェック欄 □

ServerStartを使ってOSや必須ソフトウェアのインストールが終了したら、「3 内蔵オプションを取り付ける」で取り付けられなかったオプションを取り付けます。
内蔵オプションの取り付け終了後、必要であれば再度、ハードウェアの設定を行ってください。
すべての内蔵オプションが接続されている場合は、手順8へ進んでください。

重要　以下の操作手順で電源を切ってください。操作手順に反すると、データが破壊されるおそれがあります。





●内蔵オプションを取り付けるときは、サーバ本体および周辺装置の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから取り外してください。感電の原因となります。
●発煙、発火などの異常が発生した場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。

■電源切断方法

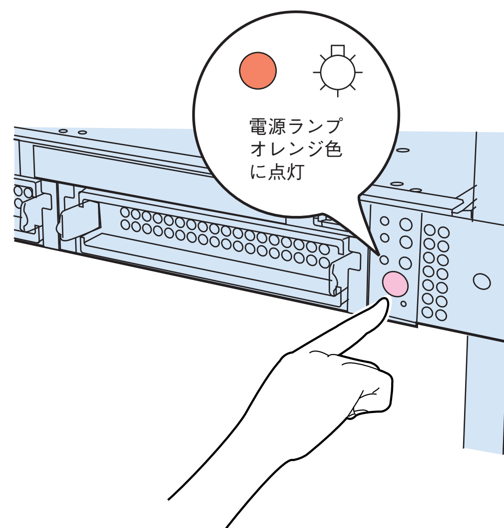
1 フロッピィディスクドライブおよびCD-ROMドライブなどに媒体が挿入されていないことを確認します。

2 OSを終了します。
以下の場合は、OS終了後サーバ本体の電源が切れます（以降の操作は必要ありません）。
－OSがWindows 2000 Serverの場合
－ServerViewがインストールされている場合
その他のOSの場合は、OSを終了し、フロッピィディスクとハードディスクのアクセス表示ランプが消えていることを確認します。

3 サーバ本体前面の電源スイッチを押します。

4 ディスプレイなどの周辺装置の電源スイッチを押します。

5 その後、その他の内蔵オプションの取り付けやその他の作業を行います。



8 システム設定情報を退避する　チェック欄 □

「BIOS Environment Support Tools」を用いて、システムの設定情報を退避するとともに、コンフィグレーションシートに装置の運用状態を記入するようにしてください。
記入したコンフィグレーションシートは、紛失しないように大切に保管してください。システムに異常が発生したときやオプションの増設時に参考になります。

取扱説明書 ≫ 「4.5 BIOS設定情報の退避／復元」
「付録B.1 コンフィグレーション・シート」

重要　「ハードウェア構成ツール起動用フロッピーディスク」は、あらかじめServerStart CDから作成しておいてください。

取扱説明書 ≫ 「A.6.1 ハードウェア構成ツール起動用フロッピーディスクの作成方法」

■起動方法

1 電源を投入し、ハードウェア構成ツール起動用フロッピーディスクをセットします。

2 「2.Basic(BIOS Environment Support Tools)」を選択し、[Enter]を押します。

3 「BIOS Environment Support Tools」ディスクをセットします。
次のコマンドを入力し、システム設定情報を退避します。

```
A:\>read.bat   [Enter]
```

```
MS-DOS 6.2 Startup Menu
________________________

1.Server Management Tool
2.Basic(BIOS Environment Support Tools)
3.Basic(RAIDUTIL)
4.Basic(Japanese Environment)
5.HDD firmware update
6.System Setup Utility(SSU) for N800
```

9 運用開始　チェック欄 □

これでセットアップが終了しました。